

## 市内企業での取り組み事例

市では、セミナー・講演会の開催や相談員の派遣といった事業により、以前から市内企業のワーク・ライフ・バランス等の推進を支援しています。市事業を通じて把握した、市内企業の取り組み事例の一部を紹介します。

### ■学校法人 北陸学園（教育業） ※記念講演会のパネリストとして出席

- ・「業務の棚卸」「業務時期検討提案の推進」を通して、業界慣習としての繁忙期を職員全員で見直す意識改革により平準化・効率化を実現
- ・「目的」「成果」を日々確認することで「一人あたり・時間あたり」の生産性向上の実現
- ・「事実の整理」習慣の徹底により、「成果への最短ルート」を職員が思考する体制を整備

### ■(株)DNPメディア・アート（製版業） ※記念講演会のパネリストとして出席

- ・カエル会議実施による業務の平準化、効率化の達成
- ・独自のローカルウェブで掲示板を設置し、仕事上の悩みや成果等を自由に書き込み
- ・ストレスチェックを頻度多く実施し、スタッフのメンタルケアをきめ細かく実施
- ・スタッフのモチベーション維持・向上やヤル気喚起のために様々な施策を実施

### ■(株)スノエ（業務用食材卸売業）

- ・平成 28 年度に長岡市が実施した「ワーク・ライフ・バランス導入支援事業」による導入セミナー、社内啓発セミナー、導入コンサルティングを活用。残業時間の増加といった課題整理と業務の平準化、属人化排除等を目的とした行動計画を策定
- ・現在は、資格取得の奨励、費用補助など社員教育の充実、社内書類様式の統一化、残業の事前申請による時間管理の徹底などの取り組みを通じ、会社全体での業務改善を実施

### ■(株)サカタ製作所（製造業）

- ・「残業ゼロ」等为目标に掲げた経営トップの強い意志表明
- ・就業管理システム導入による勤怠情報の見える化
- ・時差出勤パターンの多様化、事前申請による残業許可制、長時間労働抑制アラート
- ・削減できた残業代は、賞与として社員に還元
- ・1 時間単位での有休取得、有休取得率 60%を目標に経過チェックを徹底
- ・男性社員の育児休業取得を積極的に推奨し、取得者が増加

### ■グローバルマーケティング(株)（コンサルタント業）

- ・「イクメン」を初めスタッフの子育てを積極的に支援
- ・毎週水曜日を「振り返りの日」とし、前 1 週間の業務を振り返り。無駄や重複を見つけ出し業務の改善に繋げ、労働時間の削減を図っている。
- ・生産性向上と業務の効率化を踏まえ、働く場所に捉われない勤務スタイルとして「月 1 日こでもオフィス」を平成 28 年度から試験運用し、今年度「テレワーク」と名称を変更して継続実施中

### ■(株)北越銀行（金融業）

- ・ワーク・ライフ・バランス推進委員会を設置し、全行的な取り組みを展開
- ・ノー残業デーを増加させ、早帰り推進の取り組みを強化
- ・育休中や職場復帰直前に、対象女性行員に対しセミナーや業務に関する説明会などを実施し、スムーズな職場復帰を実現している
- ・女性管理職登用の推進や、女性行員対象のキャリアアップ目的の研修を充実